



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年8月6日

上場会社名 田淵電機株式会社 上場取引所 大
 コード番号 6624 URL <http://www.zbr.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 貝方士 利浩
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役グループ管理本部統括 (氏名) 佐々野 雅雄 (TEL) 06-4807-3500
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	8,075	17.1	2 △85.7		△131	—	△197	—
22年3月期第1四半期	6,897	△21.7	14 △86.4		△52	—	△108	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	△5.61	—
22年3月期第1四半期	△3.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	14,220	659	4.1	16.58
22年3月期	13,719	1,002	6.7	26.23

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 584百万円 22年3月期 924百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年3月期	—				
23年3月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	16,000	11.3	100 △19.2		△100	—	△200	—	△5.68
通 期	34,000	10.6	600 242.1		300	—	100	—	2.84

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

23年3月期1Q	35,302,649株	22年3月期	35,302,649株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

23年3月期1Q	65,308株	22年3月期	64,301株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

23年3月期1Q	35,237,743株	22年3月期1Q	35,240,973株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	2
2. その他の情報.....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要.....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要.....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要.....	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要.....	3
3. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書.....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新興国向けの輸出拡大により生産活動は増加基調で推移しており景気は緩やかな回復基調が続きました。しかしながら欧米経済の先行き不安や円高、資源価格の上昇等の影響もあり引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような状況下、当社グループでは、環境・エネルギー関連分野等の成長分野への社内資源のシフトを加速させるとともに、グループ全体での継続的なコスト削減活動を進めてまいりました。しかしながら、電子部品市場において需給バランスの崩れなどにより、一部の部品調達が極めて厳しい状況に直面し、電源ユニット等の生産等に大きな影響を受けました。この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は8,075百万円（前年同期比17.1%増）、営業利益は2百万円（前年同期比85.7%減）、円高による為替差損及びデリバティブ評価損等が発生したこと等により経常損失は131百万円（前年同期は経常損失52百万円）、四半期純損失は197百万円（前年同期は四半期純損失108百万円）となりました。

部門別売上高は次のとおりであります。

変成器部門は電子レンジ用高圧トランスが減少したものの、エアコン用リアクタ等が堅調に推移したため売上高は2,384百万円となりました。

電源ユニット部門はアミューズメント用電源機器が大幅に減少したため売上高は2,948百万円となりました。

インバータ部門は、太陽光発電用パワーコンディショナが好調に推移し売上高は2,742百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は14,220百万円となり、前連結会計年度末に比べて500百万円増加しました。これは主として、現金及び預金が535百万円、たな卸資産が278百万円それぞれ増加し、有形固定資産が121百万円減少したこと等によるものであります。

負債は13,560百万円となり、前連結会計年度末に比べて842百万円増加しました。これは主として、支払手形及び買掛金が432百万円、有利子負債が373百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

純資産は659百万円となり、前連結会計年度末に比べて342百万円減少しました。これは主として、利益剰余金が197百万円、その他有価証券評価差額金が118百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年5月14日に公表しました平成23年3月期の連結業績予想は、本資料及び本日広報の「業績予想の修正に関するお知らせ」において修正しております。

詳細につきましては、「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

・連結業績予想（第2四半期連結累計期間）

売上高	16,000百万円	（前年同期比	111.3%）
営業利益	100百万円	（前年同期比	80.8%）
経常利益	△100百万円	（前年同期比	－）
当期純利益	△200百万円	（前年同期比	－）

・連結業績予想(通期)

売上高	34,000百万円	(前連結会計年度比	110.6%)
営業利益	600百万円	(前連結会計年度比	342.1%)
経常利益	300百万円	(前連結会計年度比	—)
当期純利益	100百万円	(前連結会計年度比	—)

為替レートは1ドル90円を前提としております。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。これによる損益への影響は軽微であります。

② 表示方法の変更

(四半期連結損益計算書関係)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用に伴い、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失」の科目を表示していません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、前々連結会計年度末におきまして重要な当期純損失を計上いたしました。前連結会計年度におきましては営業利益は黒字となり、営業キャッシュ・フローは大幅に改善いたしました。経常利益及び当期純利益は改善したものの損失を計上いたしました。

当第1四半期連結累計期間におきましては、営業利益は黒字となりましたが、経常利益及び四半期純利益は損失を計上いたしました。

引き続き厳しい経営環境の中、当社グループは従来の諸施策、すなわち太陽光発電用パワーコンディショナ等の主力商品の受注拡大、最適地生産への再編、徹底したコスト削減等を着実に推進することに加え、販売及び生産体制の合理化及び再構築、徹底したムダ排除及びローコストオペレーションの実施等により収益体質の強化を図ってまいります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,388	1,852
受取手形及び売掛金	3,693	3,659
商品及び製品	1,260	1,146
仕掛品	446	399
原材料及び貯蔵品	2,022	1,904
繰延税金資産	24	31
その他	337	443
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	10,168	9,433
固定資産		
有形固定資産	2,283	2,404
無形固定資産		
のれん	15	18
その他	129	139
無形固定資産合計	144	157
投資その他の資産		
投資有価証券	1,292	1,392
その他	316	315
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	1,608	1,706
固定資産合計	4,036	4,269
繰延資産	15	17
資産合計	14,220	13,719

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,799	6,366
短期借入金	624	264
1年内返済予定の長期借入金	929	749
1年内償還予定の社債	260	260
リース債務	179	184
未払法人税等	101	121
賞与引当金	99	123
その他	789	710
流動負債合計	9,782	8,779
固定負債		
社債	800	800
長期借入金	1,785	1,889
リース債務	396	452
退職給付引当金	608	601
その他	187	194
固定負債合計	3,778	3,937
負債合計	13,560	12,717
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,195	3,195
利益剰余金	△1,460	△1,262
自己株式	△12	△12
株主資本合計	1,723	1,921
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△219	△100
為替換算調整勘定	△919	△895
評価・換算差額等合計	△1,139	△996
少数株主持分	75	77
純資産合計	659	1,002
負債純資産合計	14,220	13,719

(2) 四半期連結損益計算書
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	6,897	8,075
売上原価	6,321	7,408
売上総利益	575	667
販売費及び一般管理費	561	665
営業利益	14	2
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	3	5
持分法による投資利益	—	1
デリバティブ評価益	13	—
その他	12	4
営業外収益合計	30	11
営業外費用		
支払利息	51	37
持分法による投資損失	5	—
為替差損	17	52
デリバティブ損失	—	25
その他	21	30
営業外費用合計	96	145
経常損失(△)	△52	△131
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1	—
特別利益合計	1	—
特別損失		
固定資産除売却損	—	9
特別退職金	8	—
特別損失合計	8	9
税金等調整前四半期純損失(△)	△59	△141
法人税、住民税及び事業税	41	38
法人税等調整額	1	9
法人税等合計	43	47
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△189
少数株主利益	6	8
四半期純損失(△)	△108	△197

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△59	△141
減価償却費	143	135
のれん償却額	3	3
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	△0
受取利息及び受取配当金	△4	△6
支払利息	51	37
持分法による投資損益(△は益)	5	△1
有形固定資産除売却損益(△は益)	—	9
売上債権の増減額(△は増加)	△220	△153
たな卸資産の増減額(△は増加)	11	△382
仕入債務の増減額(△は減少)	196	581
その他	△26	251
小計	100	332
利息及び配当金の受取額	4	6
利息の支払額	△45	△32
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△38	△53
営業活動によるキャッシュ・フロー	20	253
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△59	△105
有形固定資産の売却による収入	2	0
その他	△4	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△61	△110
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	156	430
長期借入れによる収入	300	300
長期借入金の返済による支出	△187	△224
社債の償還による支出	△30	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△40	△40
少数株主への配当金の支払額	△10	△48
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	187	416
現金及び現金同等物に係る換算差額	13	△23
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	160	535
現金及び現金同等物の期首残高	2,117	1,852
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,277	2,388

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。